

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業					☒ マニフェスト関連		☐ 全庁横断課題関連	
政策名	総合計画 04	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
施策名	21	生涯学習の推進				所属係	スポーツ振興班	課長名	野本立一
基本事業名	77	学習・スポーツの啓発				担当者名	濱田祐史	電話番号 (内線)	248-5555 1504
予算科目	会計 01	款 10	項 06	目 01	事業	法令根拠			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入 ↳ (開始年度 昭和58 年度 ~) ↳ (年度 ~ 年度)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
(事業の概要) ・合志市民の健康増進、親睦融和を図るための健康マラソン大会。合志市民、合志市在勤者を対象に17部門を設け、第1回目の合併記念大会と位置付け、ゲストランナーに松野明美さんを迎え開催した。予算は特に報償費での大会参加賞及び参加賞代に使う。 (事業の内容) ・会場の手配、企画立案、広報作業、集計作業、保険の手配、各団体への協力依頼、会場準備、司会進行、大会運営、後片付け、住民への報告、協力御礼の送付 (予算の内訳) 報償費、旅費、需用費、委託料、使用料及び賃借料						総投入量	事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
							事業費計 (A)	0	
							人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B)	0
							トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

18年度実績(18年度に行った主な活動)

・カントリーパーク内に特設周回コースを設置し、松野明美さんをゲストランナーに迎えて(合併記念として)部門別に分けて行った。参加者687名。

19年度計画(19年度に計画している主な活動)

・18年度に同じ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

市民および市内在勤者(マラソン大会参加者)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・健康増進に関心を持つことができる。
・親睦融和を図れる。

④ 結果(どんな結果に結び付けるのか)

学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。
施設や学習内容を知ることができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア マラソン大会実施回数	回

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 合志市の人口	人

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 健康増進に関心を持てたと思った参加者の割合	%
イ 親睦融和を図れたと思った参加者の割合	%

⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 取り組んでいないが今後取組んでみたいと思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	16年度 (実績)	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (見込)	20年度 (目標)	21年度 (目標)	22年度 (最終目標)
投入量	事業費							
	財源内訳							
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円		687	680	680	690	690
	一般財源	千円		2,154	1,596	1,570	1,560	1,560
	事業費計 (A)	千円	0	2,841	2,276	2,250	2,250	2,250
	人件費							
	正規職員従事人数	人		5	5	5	5	
活動指標	延べ業務時間	時間		440	440	440	440	440
	人件費計 (B)	千円	0	1,747	1,747	1,747	1,747	1,747
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	4,588	4,023	3,997	3,997	3,997
	活動指標	ア 回		1	1	1	1	
	対象指標	ア 人		53303	53909	54518	55124	55732
	成果指標	ア %		未把握	80	85	85	90
		イ %		未把握	65	70	75	80
	上位成果							

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
旧西合志町で昭和58年、旧合志町で平成7年より開始されており、合併して1回目の大会であり、市民及び在勤者の健康増進と親睦融和を目的に開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
警察からの道路使用許可取得が厳しい状況にあり、会場をカントリーパークに設定し行った。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・市外からの参加も受け付けてほしい。
・カントリーパークから来年度も開催場所として要望有

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 意図の市民、在勤者に健康増進への意識を持ってもらい、親睦融和を図ることにより、結果の学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。施設や学習内容を知ることができるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市民の健康増進意識の高揚、親睦融和また、マラソン大会を通じてのまちづくりのためには関与は妥当であるといえる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 PRの方法、市内各学校の協力、本大会の定着化が進めば向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 走ることを楽しみにしている約700名が、健康増進意識の高揚、親睦融和の機会を失う。また、「元気な合志市」のPRの機会を失う。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似の事業が無い
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 申込期間等を早め、参加者を早急に確定させることにより参加賞、ゼッケン等の発注業務を早くできることにより発注無駄がなくなり削減に結びつく。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 この事業を合志市陸上競技協会へ移管することができれば削減できる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 参加より千円の参加料を徴収している。

合志市

事務事業名	合志市民健康カントリーマラソン大会開催事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) これまでの旧町単位での実績を踏まえ開催したので、コース設定、走者の参加部門分け、表彰、参加賞、参加者数に関しても高いレベルにあると考えている。 来年は今年度の反省を元に、より良い大会になるようにしていきたい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・本大会の現状を維持しながら、各学校、陸上競技協会の協力を要請していく。 ・申込期間等を早め、参加者を早急に確定させることにより参加賞、ゼッケン等の発注業務を早くでき発注無駄がなくなりコストダウンに結びつく。		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・市内各学校および合志市陸上競技協会の協力 ・合志市民へのPR、行事としての定着化																							

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☐ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり		(5) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(4) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																							
(6) その他2次評価会議で指摘された事項																							